

湘南医療大学

ティーチング・ポートフォリオ

湘南医療大学

看護学科

黒川 領子

2023年9月30日作成

1. 教育の責任

医療の現場から教育の世界に飛び込んだ私は、大学教員に求められること、そしてそれを実現させるために何をすればよいのかということが分からないまま、上司や先輩方から言われることをこなす日々を送っていた。入職して1・2年は講義・演習の補助を行い、3年目からはチューター活動と委員会の仕事も行うようになり、少しずつ責任が求められるようになってきた。

2. 私の理念・目的

1) 私の理念

学生は「大学生になったら、こういうことをしたい。」「自分の夢をみつきたい。」などなんらかの希望をもって入学してくる。この気持ちは学修にとってとても大切なものである。学生に“意欲を低下させることなく、学修してもらおう”が私の理念である。

2) 理念をもつに至った背景

入職して一年目の右も左も分からない状況の時に、追実習を受けることになった学生の対応をすることになった。担当した学生は看護師になりたいという気持ちがほとんど無くなってしまった状態で、講義や演習へのやる気が消失しており、追実習そのものが苦痛になってしまっていた。教員と目を合わせることをせず、課題の修正を求めると泣き出してしまう状況の生徒にどう対応すればよいのか分からず、先輩方に相談した。しかし納得のいく回答は得られないまま追実習は終了してしまった。この経験から、学習意欲を無くした学生にどう対応すればよかったのか、やる気のない学生にどう対応していけばよいのか、問題のある学生にどう対応していけばよいのかなどを明確にしたいと考えるようになった。

3. 教育の方法・戦略

学生との関わりは講義・演習の補助であり、自分の教育方法を模索している段階であることから、明確な記述はできない。今現在は他の教員の講義や演習に参加する際に、学生との関わり方で参考にできそうな場面を吸収できるよう、アンテナを張り巡らすようにしている。また、教育や思想に関する文献などを読み込み、教育に関する知識を増やすことを心掛けている。

4. 学習成果

・国家試験対策の講義(1コマ): 覚えて欲しい事柄をパワーポイントにまとめ、それをみながら解説する方法。一方的に話すだけの形になり、学生の注意を引き付けることはできなかった。

5. 改善のための努力

- ・一方的に話すだけの講義:学生の反応をみながら、話し方を変更させていく。
- ・学生の注意をひきよけることができない:学生が興味を持つ話題をもちこんでいく。自分で調べさせる時間を盛り込む。

6. 今後の目標

短期目標:大学院修士課程を2年で終了する。

長期目標:博士を修得し、市民に楽しくそしてわかりやすく講話できるようになる。

【添付資料】

特になし。